

SPring-8 ユーザー協同体 2020 年度特別総会 議事録

日時：2021 年 3 月 6 日(土) 14 時 50 分～15 時 50 分

場所：WebTV 会議

出席者：約 130 名

- ・ 議事に先立って木村会長より挨拶があった。その中で、SPRUC は施設とユーザー間のコミュニケーションを図り、最終的に成果の最大化を目指す役割があるとの表明があった。また例年(1 月の放射光学会時)とは異なり、3 月に特別総会を開催することに関する説明があった。

議題

1 施設報告

JASRI の山口常務理事から「SPring-8/SACLA の現状と成果の最大化に向けての取組」と題して施設報告が行われた。

- ・ 1988 年の理研・原研 大型放射光施設研究開発共同チームの発足から現在までの 20 年以上にわたる SPring-8 の歴史が紹介された。
- ・ 文科省の特定先端大型研究施設という位置づけにある SPring-8/SACLA において、JASRI と理研の業務遂行体制に関する説明が行われた。
- ・ 2021 年 1 月から JASRI の放射光利用研究基盤センター内に「精密分光推進室」ができ、「産業利用推進室」が「産業利用・産学連携推進室」と「産業利用基盤開発推進室」の 2 室体制になったことが報告された。「産業利用・産学連携推進室」は、これまでの産業利用に加えて産学連携も強化するという趣旨で設立された。産業利用基盤開発推進室は、理研等で開発された先端技術を産業界の利用者にも使いやすいように汎用性を高めたり、専用ビームラインでの産業利用の促進や共用枠の活用を検討したりする趣旨で設立された。
- ・ JASRI の利用促進業務、特に SPring-8/SACLA の課題選定、利用制度・利用料金に関する説明があった。利用制度については、ワークショップ内でも説明があったとおり、今後改正の検討を行っている。
- ・ SPring-8/SACLA の利用者数、利用課題数、論文数の推移に関する 2019 年度までの統計データが報告された。今年度はコロナ禍の影響で変動が予想されるものの近年の SPring-8 の年間利用者数は約 16,000 人であり、産業界の利用は全体の約 17%で推移している。発表論文数は、日本の総論文数の約 1%が SPring-8 関連の成果となっている。SACLA の年間利用者数は 1200 人を超え、課題数・採択率も伸びてきている。
- ・ BL 別の年間利用料収入については、産業利用、構造生物(タンパク関係)のビームラインで成果専有利用が多く活用されている。
- ・ SPring-8 の産業利用推進について、2018 年の文科省の中間評価でも産業利用の

重要性が確認されたことを受け、3つの利用者層に対する対策が必要であるとの考えが示された。特に SPring-8 の利用経験が無いがモノ作りに関して難解な課題を抱えている潜在ニーズ層に対しては、大学(解析系・非解析系)と企業(解析部門・製品開発)の間の強い産学連携(課題を整理して連携をリードする人)が重要であるとの認識が示された。

- ・ 上記、SPring-8 の産学連携推進について Science Promotion Board (SPB) の設置を進めている。当初、SPB は SPRUC の中に作る計画であったが、現在は SPRUC の外において議論を行うべく計画が進んでいる。まず物質材料領域について具体的な人選とメンバーを決め、4月から議論を開始する状況にある。
- ・ SPring-8 の中長期計画について以下の説明があった。
 - ✓ SPring-8-II を視野に入れたビームライン整備として、光源加速器を入れ替えてからビームライン改修するのではなく、ビームライン改修を先行させて、しかるべき時期に加速器を入れ替える方針
 - ✓ ESRF 等、世界の放射光施設の状況をみると SPring-8 の第4世代への改修が遅れている状況にあるため、関西経済連合会他には 2022 年度から着手、2026 年度に稼働を目指す内容で大規模改修への応援を要請している。
- ・ コロナ禍での運営について、2020 期は利用停止期間があったため 2020 B 期の募集を行わなかったが、2021 年以降はコロナ感染防止対策をしながら従来通り A 期・B 期の運転を計画している。
- ・ 今後の利用に関して、SPring-8 の PRC 分科会の再編を進めていること(2022A 期の課題審査から適用予定)。SACLA 利用の普及啓発を目的とした試験利用制度がスタートしたことが報告された。また、UI サイトが昨年 11 月にリニューアルされたこと、SPring-8/SACLA 利用研究成果集が J-STAGE で公開開始して年 6 回発行になる。タンパク質の X 線構造解析と併用してクライオ電子顕微鏡を共用整備し、2021B 期から試行運用を始めることが報告された。

2 第 10 回評議員選挙結果について

松村選挙管理委員長より第 10 回評議員選挙結果に関する報告が行われた。本選挙では、評議員 30 名のうちの半数 15 名を改選されることとしていたが、学術研究機関の投票結果において 2 件、審議すべき事案が発生したこと。これらについて評議員会での審議の結果等が報告された。

3 行事幹事報告

大和田行事幹事より以下 2 件の報告があった。

3-1 SPring-8 2020 開催報告

SPring-8 シンポジウム 2020 が昨年 9 月 18 日に開催された。参加者は 391 人。テーマは「ポストコロナ時代の SPring-8 利用」。

- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、当初つくば国際会議場で予定していた会議が SPring-8 の普及棟を拠点にオンライン配信で開催された。

- ・ 従来2日間で行っていたが、今回は初めてということもあり1日とした。
- ・ Young Scientists アワードの授賞式・受賞講演を含む SPRUC 総会を含む5つのセッションで構成し、恒例のパネルディスカッションも実施した。
- ・ テーマであるポストコロナを見据えた自動測定やリモート実験の状況等が紹介され、分野間での問題点や、改めて現場での実験やコミュニケーションの重要性が議論された。

3-2 SPring-8 秋の学校開催報告

第4回 SPring-8 秋の学校が昨年12月20日から23日4日間で開催された。コロナ禍の中であったが、47名の参加を得て開催することができた。

- ・ 密を避けるためにグループ講習の数を20まで増やし、1講習あたりの参加者をおよそ2名した。そのため、各研究会から多くの講師を推薦いただいた。
- ・ 懇親会等が中止になったため、企画プログラムに自己紹介を入れて、参加者間のコミュニケーションを図ることに注意を払った。
- ・ 秋の学校の特徴として、放射線業務従事者登録が不要という点があるため、夏の学校に参加できない大勢の方々が参加できるという点がある。秋の学校をぜひ活用いただき、放射光というものを身近に感じていただきたい。
- ・ 実際にはキャンセルもあったが参加申し込み数は60件あり、参加希望者数は順調に伸びてきている。

4 会計幹事報告

久保田会計幹事の代理として竹田編集幹事より以下2件の報告があった。

4-1 SPring-8 シンポジウム 2020 決算

SPring-8 シンポジウム 2020 予算・実績(確定)版資料を基に、決算報告が行われた。

4-2 2020 年度 SPRUC 予算執行状況

2020 年度 SPring-8 ユーザー協団体予算・執行状況(2021年3月1日現在)について提示資料を基にして説明が行われた。収入、支出の部についてそれぞれ説明があり、JASRI へ請求する活動支援金の収入欄の未収金と今回のワークショップ開催に係る支出欄の未払い金を精算した結果、繰り越金については、増減なく来期に繰り越される予定との説明があった。

5 利用委員会報告

田中利用委員長より研究会開催状況について説明が行われた。

- ・ コロナ禍の中で研究会の開催が危ぶまれたが、7月頃からオンライン開催されている。3/6時点で12件、3月末までに9件の開催が予定されている(32研究会の半数以上)。開催された研究会の中には、SPring-8 先端利用技術ワークショップとして JASRI と共同開催で実施したものもある。
- ・ 今後開催を予定している研究会も多数あるが、動向調査の締め切りが3月19日と近づいているため、各研究会開催後には、速やかな提出にご協力をいただきたい。

- ・ SPRUC には現在 32 の研究会が設置されているが、今期から設立された研究会もあり、まだまだ、登録者数が少ないので、興味のある研究会には、多くの会員に参加の登録をいただきたい。
- ・ SPring-8/SACLA 先端利用セミナーは、JASRI 側が企画を行い、SPRUC 研究会から講師を呼んでオンラインセミナー行うもので4月末まで全14回開催予定である。現在、他の SPRUC 研究会とも調整中であり、研究会から講師の推薦も歓迎している。

6 その他

松下庶務幹事の代理として田中利用委員長より今後の予定の説明が行われた。

- ・ 特別総会までの実施実績が簡単に紹介された。
- ・ 2 月初旬に研究会へ利用動向調査報告書の依頼がアナウンスされている。報告書の締め切りは3月19日。その後、その後、報告書の取りまとめを行う。4月の初めに SPRUC-JASRI 活動相互報告として、取りまとめた報告書を JASRI にお渡しする予定。
- ・ また、評議員会、第 21 回の SPring-8 夏の学校、SPring-8 シンポジウム 2021、2021 年度総会、第 10 回代表機関会議、第 5 回 SPring-8 秋の学校に関する予定が示された。

以 上